

2013（平成 25）年度後期 DUO リーグ会議②議事録

【日 時】 2013（平成 25）年 7 月 15 日（月） 17：00～19：00

【場 所】 筑波大学附属高校会議室

【出 席】（代表者名。下線は遅刻）

都小石川（長山）、昭和一（永井）、三菱養和（杉尾）、京華（小金丸）、都向丘（北洞）、筑波大附（中塚）、学習院（玉生）、豊南（小寺）、本郷（岩野）、城西（中川）、豊島学院（早川）、郁文館（井上）、駒込学園（川上）、巢鴨（山中）、立教池袋（橋本）、獨協（山田）、淑徳巢鴨（石原）、都竹早（蓑田）、日大豊山（川原）、都文京（中村）、都足立（安藤）、都江北（蓑輪）、足立学園（伊藤）、都荒川商業（智片）、中大高（加藤）、都足立西（栗山）、都千早（荻田）、文京区中学生選抜（丸山）、FC 西巢鴨 03（岸）

【欠 席】 都足立、都足立西

【オブザーバー：選手】

川島・中沢・左右田（筑波大附）、佐々木（都小石川）

【オブザーバー：一般】

志村（郁文館）、稲垣（文中選）、大河原（筑波大附）、柳井（筑波大附）、栗原、岡田（東京リゾ&スポ）、竹内（都千早）、嶋野（城西）、馬場（巢鴨）、武藤（文中選）、三ツ矢（事務局）

【議事録作成】 三ツ矢（事務局）&中塚確認・修正

【議 題】

I. 理事会報告

II. 前期リーグの進捗状況と今後

1. 各リーグの報告
2. 順位決定戦
3. 昇降格
4. その他

III. 後期イベントについて

IV. 各担当より

1. 事業部門(岩野)
2. 管理部門(井上)
3. 企画部門(岸)

V. その他

<DUO リーグ会議ダイジェスト（決定事項を中心に。詳細は下記参照。）>

◆1 部チャンピオンシップ

日時：7 月 19 日(金) 9:00～

場所：惣右衛門公園グラウンド

◆2 部チャンピオンシップについて、同一クラブから 2 チーム出場することを認める。

◆1 部 3 位決定戦

日時：7 月 27 日(土) 15:30～

場所：都立荒川商業高校グラウンド

◆後期イベントは、各会場の優勝者が 12 月 22 日(日)（雨天の場合は 12 月 23 日(月)）に筑波大附に集まり、チャンピオンシップを行う。

◆DUO リーグアウォーズ

期日：8月14日(水)

場所：都立小石川中等教育学校

◆後期 DUO リーグ会議

期日：12月22日(日) (雨天の場合は12月23日(月))

場所：筑波大学附属高等学校

議題Ⅰ．理事会報告

中塚：5月17日(金)と6月27日(金)に理事会を行いました。参加者は記載の通りです。理事会で話し合われた内容は既にメーリングリストで皆さんに報告しています。5月17日(金)の理事会では、後期イベントについての話し合いにほとんどの時間を使いました。話し合いがぶれないために、出発点をはっきりさせました。次の4つです。

- ・昇降格を伴うリーグは「前期のみ」となり、後期期間があいてしまった。その期間内に実施する
- ・単年度完結型の「イベント」を行い優勝者を決する。優勝者(チーム)名はトロフィーに刻まれる。
- ・参加資格を有するのは、リーグに加盟している DUO クラブのみ。
- ・加盟クラブの運営能力向上が一つのねらい。

これらを踏まえて前回の DUO 会議では「ミニサッカー大会」を岩野氏が提案した。大きな反論や対案もなかったので、理事会では「ミニサッカー大会」をイメージして話し合いを進めました。

6月27日(金)の理事会ではこのことについてさらに詳しい議論をしました。この内容については、またのちほど確認していきます。

議題Ⅱ．前期リーグ進捗状況と今後

1. 各リーグの報告

◆1部 DU リーグ

永井：昭和一 A と中大高の試合が未消化となっています。7月19日に行う予定です。順位としては、1位が京華、2位が都荒川商業です。

◆1部 UO リーグ

早川：現時点で、残り3試合です。7月20日に駒込 A と都小石川、7月21日に本郷 θ と足立学園 B、7月29日に駒込 A と都竹早が試合を行う予定です。1位が豊島学院 A で決定しています。

◆2部 D リーグ

早川：2部の残り試合も4試合です。7月16日に豊島学院 B と淑徳巣鴨 A、7月19日に淑徳巣鴨 A と都向丘、7月30日に立教池袋と都向丘、都向丘と足立学園 C が未定です。今後の試合で順位が変わる可能性があります。

◆2部 U リーグ

石原：未定の試合は配布資料にある通り、7試合です。これまでで警告者・退場者が出ておらず、フェアプレーで行えたと思います。

岩野：1位については都江北 C と G 本郷の2チームに可能性がありますが、G 本郷は昇格しないので、チャンピオンシップには都江北 C が出場します。

◆2部Oリーグ

中川：まだ6試合残っています。その6試合は配布資料に記載されている通りです。

岩野：2部Oリーグの1位は都江北Bに決定しています。

2. 順位決定戦

岩野：1部リーグのチャンピオンシップの京華対豊島学院Aですが、7月19日(金)に惣右衛門公園Gで、9時キックオフで行います。この試合での勝者は来年度の地区トップリーグに自動昇格となります。また今回のみ、地区トップリーグには2チーム昇格させるということで、チャンピオンシップの敗者と1部DUリーグ、UOリーグの2位同士の対戦の勝者で日を改めて試合をしてもらい、その勝者も地区トップリーグに昇格することになります。

→1部チャンピオンシップ

日時：7月19日(金) 9:00～

場所：惣右衛門公園グラウンド

3. 昇降格

岩野：1部の各リーグのそれぞれの最下位が2部リーグに降格し、2部の各リーグの1位でチャンピオンシップを行い、上位2チームが昇格します。

ここで提案です。地区トップリーグは同レベルのリーグに同一クラブから2チーム参加することはできません。しかしDUOリーグでは、そのチームの強さにあったリーグ編成をするべきだとの考えに基づき、これまで認めてきました。そこで、DUOリーグでは同一クラブから2チームが2部リーグから1部リーグにも昇格できることをここで確認したいと思います

北洞：1つ質問してもよろしいですか。提案通りに行くとした時、ないとは思いますが、今回で言えば都江北の2チームで自分のクラブの都合がよいように試合を運んでしまうことも考えられるので、その辺はクリアにした方がよいのではないのでしょうか。

中塚：地区トップリーグで同一クラブから2チーム参加させない理由の1つにそのことがあります。しかしスポーツマンシップをしっかりと理解できればそのようなことはないと思いますし、DUOリーグの加盟クラブは、しっかりと理解した上で、スポーツマンシップにのっとってやるのが前提なので、これまで問題になることはありませんでした。いかがでしょうか。

→承認

玉生：都江北の2チームが1部リーグに昇格した場合、次に地区トップへの昇格のことも考えなければいけません。都江北Bの方が強いということで、都江北B、都江北Cとしています。その中で、来年度都江北Bが1部に残留し、都江北Cが地区トップへの昇格条件をクリアした場合、昇格権を与えるのかどうかということも考えなくてはなりません。こういう場合は、上位リーグでは”なし”と考えています。

岩野：そのねじれ現象も山下先生（都立駒場）から出ていたことです。年度が変わるといふことで、Bチームを追い越してCチームが地区トップリーグに昇格する場合、次の年に地区トップリーグに参加するCチームは名前を変えるのが自然だと思います。Cチームで昇格権を得たが、来年度はBチームとして参加する。なので、DUOリーグではCチームがBチームを追い越した場合でも、昇

格権を与え、チャンスを増やしたいと考えます。

玉生：良いと思います。ですがそのような場合は、CチームをBチームに名前を変えるなどで対応してください。

中塚：この話で大切なのは、プレイヤーズファーストということで、~~その~~チームやプレーヤーの競技レベルにあった環境でプレーをさせようということです。ここで1つ抜け落ちている話として、リーグは競技力だけでなく運営能力も問われるということです。今回のことと言えば都江北がそれだけの環境でも運営できるのかということ、クラブでしっかり考えてください。

智片：1つ議題が戻ってしまうのですが、都荒川商業はチャンピオンシップに参加する一方で、今後合宿等で日程の調整が難しいので、先に確保したグラウンドをお伝えします。7月27日(土)に都荒川商業のグラウンド、8月9日(金)に北運動場です。

岩野：7月27日(土)ですが、足立学園はあいていますか。

伊藤：あいています。

岩野：本郷も7月27日(土)はあいています。

中塚：では1部の3位決定戦は7月27日(土)に行いましょう。

→1部3位決定戦

日時：7月27日(土) 15:30～

場所：都立荒川商業高校グラウンド

中塚：審判はどうしますか？

岩野：審判は募りましたが出てきませんでした。去年優秀審判賞をもらった本郷の2年生、藤井君がやりたいとのこと。主審は藤井君に任せ、副審も本郷から2名出してやりたいと考えています。しかし例年、チャンピオンシップや順位決定戦は大事な試合なので、大人がやっていることが多いです。なので、京華と豊島学院がどう考えがえているのかを聞きたいです。大人でやってほしいのであれば、対応します。

早川：シビアな部分もあるので、大人にやってもらった方がいいのかなとは思っています。

岩野：わかりました。当日本郷は全員で見に行くので、藤巻が審判をやります。

7月27日(土)の3位決定戦の審判も募集したいと思います。

中塚：審判部から3位決定戦の審判について、案はないですか。

嶋野：未消化試合をそこで組むチームがいれば、そこから審判を出してもいいと思います。

岩野：ここで組める試合はありますか。

嶋野：城西と都千早の試合が入れば、城西で対応します。

岩野：都千早の返事を待つ形になりますので、千早さんご連絡をお願いします。

中塚：前期リーグの DUO リーグアウォーズについてです。後期イベントでもう 1 度みんなが集まる機会があれば、そこで行いたい。集まらないようであれば、8 月 14 日の選手権の初日にどこかでやりたいと思います。

議題Ⅲ．後期イベントについて

岩野：資料の 1 ページから 6 ページまでの DUO リーグ理事会案は、メーリングリストで報告したものです。後期期間でこれまでと同じリーグ戦をやっても、2 地区では毎回グラウンドを提供できるクラブが決まってきている状況です。そこで、これまで会場提供や運営を行ってこなかったクラブが、会場提供や運営ができるようにして、DUO リーグの運営能力を高めていこうという目的でフリーサイズフットボールを立ち上げました。

またスケジュールについてですが、~~選手権の決勝終了後の~~新人戦は高校選手権都大会決勝後の 11 月の開催になりました。この日程と DUO の後期リーグを並行して行っていくのは難しい状況にあります。そこの兼ね合いや、遊び心を忘れずに、サッカーは楽しいものであることを感じてもらうためにも、フリーサイズフットボールを提案しました。

この話を進める前に、丸山さんから出た 11 対 11 のリーグを行うのであれば、これまでの後期リーグの問題点がどう解消されていくのかも含めて、ここで案があれば後期イベントとして進められると思います。

中塚：前回の DUO リーグ会議では、岩野さんからフリーサイズフットボールの案が出て、いくつかの異論はあったが、~~—~~おおむね同意を得て、対案も出ませんでした。よって理事会ではフリーサイズフットボールについて話し合いを進め、理事会案としてメーリングリストで報告しました。そのタイミングで丸山さんから、また異なった提案があったということです。文中選は常設チームは持たず、後期リーグが 11 人制であったから参加していたところがあり、この問題は文中選の根幹にかかわっているため、丸山さんから 11 人制の提案がありました。

丸山：文中選は ~~DUO~~ リーグに参加してきました。文中選は中学校のサッカー部の生徒が 9 月以降、大きなサッカーに関わるイベントもないので、後期のみ DUO リーグに参加をしてきました。しかし今回からはフリーサイズフットボールを行うことになりそうだとすることで中学生の意識も低くなってしまい、11 人制のサッカーを行わないのであれば、文中選は参加しないということも考えました。しかし中学生が先輩たちとサッカーをする機会を設けたく、~~先日の~~11 人制サッカーの提案をしました。

小金丸：私は、後期はフリーサイズフットボールで行う認識でいました。しかし一方ではフリーサイズフットボール、一方では 11 人制サッカーだと、方向性がばらばらになってしまうのではないかと思います。DUO リーグではフリーサイズフットボールを行い、11 人制サッカーを行いたいところは練習試合を組む形がいいのではないのでしょうか。

中塚：2013 年度第 2 回 DUO リーグ理事会報告を見てください。フリーサイズフットボールの目的として、個を高めること、各クラブの運営能力を高めることです。そしてフリーサイズフットボールの姿かたちは会場によって変わります。文中選のニーズをくみ取るのであれば、フリーサイズフッ

トボールの中で 11 人制を行うことも考えられます。

~~文中選、いかがでしょうか。~~文中選から提案してもらってもいいと思います。例えば都足立西会場、筑波大附会場では、全面でサッカーができる環境にあります。筑波大附では、全面でもハーフコートでもどっちでもいいです。集まったチームで相談したいと考えています。そういう形でどうでしょうか。

丸山：わかりました。

中塚：ここまでで質問がある方はいらっしゃいますか。→ なし

北洞：人数や時間は会場によって変わるが、それぞれの優勝者が最後筑波大附でチャンピオンシップを行うという解釈でいいのでしょうか。

中塚：そうです。

岩野：では理事会案に沿って話を進めます。後期は 8 回のワンデーマッチイベントを開催します。8 回開催する理由は、各会場の優勝チームが、最後に 8 チームで、筑波大附でチャンピオンシップを行うためです。しかし現在、計 10 会場で開催できるとの連絡が入っています。この場で 8 会場に限定せず、10 会場のままで各クラブからエントリーを行いたいと思います。もしチーム数が集まらない会場があれば、その会場での開催はなしにしてもいいと思います。また全 10 会場での開催が決まれば、チャンピオンシップは 10 チームで行う形にしたいと思います。

~~また、~~1 チーム 1 会場しかエントリーできないということではなく、日程さえ合えば 10 会場全てにエントリーも可能です。もし既に他会場で優勝が決まっているチームが、別会場で 2 回目の優勝が決まった場合は、2 位のチームがチャンピオンシップへの出場権が得られることとなります。

~~そして~~5~6 人制のフットサル形式で優勝したチームが筑波大附でのチャンピオンシップ(8 人制の予定)に出場する際、足りないメンバーは加盟クラブ内で補充することとします。

大会参加費については 1 チームにつき 1000 円を主催(会場提供)クラブに支払うことにしたいと思います。

中塚：ここまでで質問や意見がある方はいますか。→ なし

岩野：運営上のガイドラインについてです。

まず 1 つ目は、開催できる各会場の、募集チーム数や形式を確定し、7 月中には全加盟クラブに連絡をしたいと思います。そして各会場の開催 1 か月前までには、どのチームが参加をするのかも連絡したいと思います。

2 つ目は、会場校には参加チームの全てのメンバーが記載されたプログラムを作成してもらいたいと思います。

3 つ目は、当日のスケジュールや対戦カードが分かるものをプログラムに組み込んでいただきたいです。

4 つ目は、1 試合ごとのリアルタイムな結果がわかると、子どもたちも盛り上がるができると思います。そのためにも、大会本部を設置していただきたいです。

5 つ目は、審判についてですが、前もって割り振りを考えておき、試合のないチームから審判を出せる形にしたいです。審判の人数や形式も、会場によって変わってくると思います。

6 つ目は備品についてです。ユニフォームの色がかぶってしまった時のためにビブスがあるといいと思います。ボールやホイッスルの準備については会場校に任せたいと思います。グラウンド作り

は会場校にお願いしたいと思います。
ここまでで何か質問や意見はありますか。

嶋野：チャンピオンシップのルールはどのようになっていますか。

岩野：その話は理事会でも保留になっていた部分です。チャンピオンシップはハーフコートの8人制で行い、使用するゴールは少年サッカー用のゴールです。ここまでしか決まっていません。
実は9月22日(日)と10月27日(日)に、チャンピオンシップの想定も兼ねたワンデーマッチを筑波大附で開催しようと思っています。ここで出た問題点を修正したうえで、チャンピオンシップに臨みたいと思います。

中塚：審判はできるだけ1人でやらせてみたいですね。

岩野：オフサイドを取るのであれば、生徒1人で審判をさせるのは難しいのではないのでしょうか。大人であれば、明らかなオフサイドはとれると思いますが。

岸：サッカーは、良い意味で「適当な」スポーツだと思います。あいまいで人間の目で見ると判断します。W杯でもタッチラインからボールが出た、出ないでもめることもあります。人間はミスがつきものであるということを教えるためにはこれはいい機会だと思います。生徒1人でやらせてみてはどうでしょうか。

岩野：続いてメンバー表についてです。紙ベースで、手書きで作成する形がいいのではないかと思います。生徒に自ら作成させるのが望ましいかと思います。もちろんクラブの意向で教員が作成してもかまいません。

次に当日行うことについてです。

必ず開会式と閉会式を行って頂きたいと思います。そして設置した大会本部には、必ず1名以上はいるようにし、試合結果がリアルタイムで反映できるよう工夫していただきたいです。

資料には競技場ガイドラインの例をいくつか載せましたので、参考にいただければと思います。必ず全参加チームの順位がつくようにお願いします。

今現在で、連絡はしていないけど会場提供できるクラブはありますか。

蓑輪：日にちははっきりと言えませんが、できます。

岩野：都江北ですね。ありがとうございます。

小金丸：10月26日(土)の京華高校でのフットサル大会についてです。午後12時30分スタートで、経過から2チーム出すので6チームの募集にしたいと思います。W杯方式でやります。

中塚：今からでも会場提供できる場所は、岩野さんに連絡をしてください。

岩野：第1回のエントリーの締め切りは、7月31日(水)にしたいと思います。

中塚：初めてのことなので、上手くいかないこともあると思います。今回出た改善点を活かし、来年度につなげていきたいと思っています。

議題IV. 各担当より

1. 事業部門(岩野)

1)競技部

岩野：先ほど各リーグからの報告をしてもらいましたので、競技部はそれで良いと思います。

2)審判部

嶋野：3月に DUO リーグ対象の審判講習会を行いました。参加者は54名でした。高校生対象で行う予定でしたが、直前になって FC 東京のコーチが来たり、大人が入ってきたりと、こちらからの投げかけと異なるところがありました。しかし高校生以外の参加が若干名だったので、違和感なくできました。ユース審判が育ってきてはいますが、3級や2級を受験する生徒が増えてくるといいなと思いました。

3)技術部

早川：7月23日に所沢航空公園 G でナイキのサッカークリニックがあります。先日連絡をしましたが、主催が豊島学院、共催が DUO リーグで行います。参加する学校や生徒がいれば、連絡をください。

1. 管理部門(井上)

1)経理部

三ツ矢：振り込み状況と、決算書は資料の通りです。多く振り込んでいるクラブがあるので、後日返金したいと思います。

2)広報部

石原：プログラムについては、例年通り問題なく出来たと思います。

中塚：ML 問題について少しお話したいと思います。ML に送信をしても送信したメールが返ってこないことがあり、送信できたか確認ができないことや、件名が文字化けしてしまっている問題があります。HP や ML を担当してもらっている本多さんに確認をお願いしましたが、まだ直っていない状況です。

このことはまた私の方で確認します。

3)規律部

川上：特に大きな問題はありませんでした。

長山：補足です。日大豊山の選手が警告2枚を受けました。その際の規程がありませんでしたが、宮坂先生と相談をして次節の試合は出場停止としました。もし最終戦だった場合には、シーズンをまたいだ次の試合が出場停止ということにしようと思っています。

中塚：そこは意見が分かれるところですね。退場の場合と、警告2枚の場合で分けて考えた方がよさそうです。

長山：宮坂先生と相談してみます。

3. 企画部門(岸)

1)医・科学活動推進部

丸山：本日、ニューデックスの菅さんを招いて栄養講習会を行いました。参加者数は女子マネージャー含めて70名弱でした。1時間30分ほどの講習会でした。次回はテーピング講習会をやりたいと考えています。

岸：参加申し込みの締め切りを過ぎてからの返事が多いので、締め切りを守っていただくようお願いいたします。また今季から企画部長をやることになりましたのでよろしくお願いします。9月には事務局長の岸が、ケニアから帰ってきます。寄付金やユニフォームをいただいたりしました。報告会をやろうと考えていますのでよろしくお願いします。高校生にとってもいい話が聞ける機会だと思います。

2)リサイクルプロジェクト推進部&地域活動推進部

山中：サッカーボールからコインケースを作る機会を設けようと思っています。後期イベントの予定を見た限りタイトな日程ですので、リサイクルプロジェクトは独立して動く方がいいと追いました。また日程等ご連絡します。

中塚：これで予定していた議題は全て終わりましたが、前期リーグ記録用紙についてです。何名の方から質問を受けたので確認をしたいと思います。各試合会場で必ず紙ベースで作成してください。審判手当受領サインもあるので、会場校に残しておいてください。また、審判手当は今年度から2000円になりましたのでご注意ください。

今後の確認ですが、後期イベントの準備の会議はいらないと思います。

8月14日のDUOリーグアウォーズの会場を提供してくれるところはありませんか。

長山：都小石川できます。

→DUO リーグアウォーズ

期日：8月14日(水)

場所：都立小石川中等教育学校

中塚：優秀審判はどうしますか。

嶋野：メーリングリストで候補を考えて連絡します。

中塚：後期DUOリーグ会議は12月22日(日)、もしくは雨天の場合はチャンピオンシップが1日ずれるので12月23日(月)の予定です。

→後期DUOリーグ会議

期日：12月22日(日) (雨天の場合は12月23日(月))

場所：筑波大学附属高等学校

中塚：最後に高校生から一言ずつもらって終わりにしたいと思います。

川島(筑波大附)：各高校の先生方が長い時間話し合っ準備しているのを、会議に参加して良くわかりました。高校生である自分達も意見を出し合えたらなと思いました。

中沢(筑波大附)：僕はサッカーをプレーするばかりで、プレー以外のことは全く知りませんでした。しかし今回会議に参加して、見方が変わりました。

左右田(筑波大附)：DUO リーグについて細かいことは知りませんでしたが、今回の会議に参加して良くわかりました。またフリーサイズフットボールの様な新しいことも始まるに当たり、自分も貢献できるように考えていかなければいけないなと思いました。

佐々木(都小石川)：僕たちは与えられた日程で試合をして順位を争うだけでしたが、今回の会議に参加して、この様な準備をしていることを知り、感謝しなければならないなと感じました。またフリーサイズフットボールはおもしろそうだなと思いました。

議事録作成：三ツ矢道弘
確認・一部修正：中塚義実